

上戸祭小の合言葉



学ぼう
遊ぼう
友だちと

かみと

上戸祭小学校
学校だより 第8号
令和5年12月21日
上戸祭小学校長
青柳 文男
児童数 480名

～さようなら 2023年、こんにちは 2024年～

2023年が暮れようとしています。夏休み明けは暑さが続き、9月と11月にはインフルエンザが大流行しました。短い秋のあと、一気に冬が訪れました。複数のクラスで学級休業もありましたが、行事を延期するなどしながら、充実した教育活動を続けてまいりました。

11月30日にはPTAの皆様のお骨折りにより、昨年に引き続き「サイエンスショー」が開催されました。子どもたちは科学の世界にどっぷり浸かり、様々な実験に夢中になって、不思議に包まれた時間を過ごすことができました。12月2日の自由参観日は地域の皆様にもお声かけし、なわとび大会をご覧いただきました。当日までに子どもたちが練習した個人技や学級が一丸となって取り組んだ長縄とびの成果を見ていただきました。

来年の干支は「たつ（辰）」。龍（竜）です。5年生、6年生の中には「たつとし生まれ」の人がたくさんいます。龍は、空を飛んで雲を起し雨を呼ぶ、不思議な力を持っているとされる、想像上の生き物です。また、水の神とも考えられていて、縁起のいいものとされています。「龍」にあやかって、飛躍の年にしたいものです。



【サイエンスショー】



【なわとび大会（個人技）】



【なわとび大会（長なわとび）】

かみと歴史散歩 その17 —昇降口のステンドグラス「鳥」—

平成9,10年度に続いて平成11（1999）年度の卒業制作もステンドグラスでした。テーマは「鳥」。白鳥からペンギンまで色とりどりの鳥が116枚、昇降口を彩ります。平成11年度の校長は深澤節子先生、担任は半田和子・村岡裕美子・鈴木恵治先生でした。111名の卒業生は今年36歳になられます。



いい先生になってね

教職離れが叫ばれる中、本校の卒業生2名が4週間の教育実習を終えました。実習中は、積極的に子どもたちと関わり、どうしたら分かりやすい授業ができるか、研究を重ねました。教職を第一希望としている2人が、立派な教師になってくれることを願います。



各学年の様子

【くらべかた 1年生】

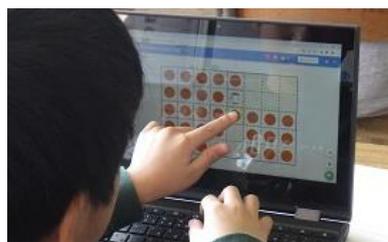


算数で、物の長さを比べる学習をしています。物を直接並べて比べるほかに、紙テープなど身近な物に長さを写し取って比べる方法もあることに気がきました。



【かけ算名人になろう！ 2年生】

2年生の算数の「要(かなめ)」であるかけ算。九九の習得はもとより、生活の中でどんな時にかけ算を使うと便利かなども学んでいます。パソコンの操作にも習熟してきました。



【大谷と博物館 3年生】



遠足で大谷石採掘場跡を見学しました。神秘的な地下巨大空間に、子どもたちは驚きの声をあげていました。県立博物館では、県内の動植物や昔の暮らしについて学びを深めました。



【自転車免許事業 4年生】

市の生活安心課の皆様の丁寧なご指導で、自転車の安全な乗り方について学びました。安全確認が最も大切。自分の命は自分で守る！



【冒険活動教室 5年生】

大自然の中で、好天にも恵まれて3日間を過ごしてきました。友達と協力することや、工夫して課題を解決することなどを学び、心身ともに大きく成長しました！



【薬物乱用防止教室 6年生】

県警本部のおまわりさんから、薬物とは何か、人体への影響、薬物の怖さなどについて教えていただきました。身近なところにも危険があることもお聞きしました。薬物は「ダメ、ゼッタイ!」です。



★学校ホームページでは子どもたちの様子を毎日配信していますので是非ご覧ください！